

企画展

草野心平の命名 名前・名前・名前

4月23日(土)～6月26日(日)

草野心平(1903～1988)は、詩の中に登場する蛙たちには「ぐりま」「ごびらっふ」、生活を共にした動物たちには「つる吉」「高蔵」、1952年から営んだ居酒屋「火の車」のお品書きには「どろんこ」「美人」といった様々な名前をつけました。

本展では、心平が命名した事物を取り上げ、関連資料と心平の言葉で、命名の達人でもあった詩人の魅力を紹介します。



草野心平(1952年3月)居酒屋「火の車」にて

企画展

ふつうがえらい！ エッセイスト 佐野洋子展

7月16日(土)～9月19日(月・祝)

佐野洋子(1938～2010)は、絵本作家として活躍するかたわら、エッセイ、小説、戯曲など、数々の文章を残しました。

著書の1冊に『ふつうがえらい』と題名をつけた佐野は、自身の経験や日々の生活を率直に綴り、読者に共感と力を与えてきました。

本展では、自筆原稿や東見本、挿絵原画、絵本『100万回生きたねこ』のデジタルリマスター版原画等を展示し、すぐれたエッセイストでもあった佐野のことばを軸に、人物像やエピソード、絵の仕事などから、その魅力を紹介します。



佐野洋子 ©JIROCHO, Inc.

企画展

萩原朔太郎大全 2022 —詩の岬—

10月8日(土)～12月18日(日)

群馬県出身の萩原朔太郎(1886～1942)は、口語自由詩を確立した詩人として知られます。室生犀星、山村暮鳥らと人魚詩社を設立し、詩誌「卓上噴水」を創刊するほか、第一詩集『月に吠える』は詩壇に大きな影響を与えました。

本展は、朔太郎の没後80周年を記念する共同企画展「萩原朔太郎大全2022」に参加し、全国の文学館等と連携しながら、暮鳥の居住した大正初期のいわき地域が、詩壇の最先端だったことを紹介します。



萩原朔太郎(1924年)画像提供:萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち 前橋文学館

いわき市立草野心平記念文学館 年間予定

新型コロナウイルス感染拡大状況、講師の都合等により、日程等が変更となる場合があります。

ホは文学館ボランティアの会事業 ※の催事は有料です。

開催日時

2022年4月～2023年3月

4月	スポット展示「猪狩満直」 9日(土)～6月26日(日) ※ 朗読サロン 9日(土) 11～12時 ホ
5月	いわき濤笛会 山口流篠笛コンサート 5日(木・祝) 10～11時(要申込) 朗読サロン 14日(土) 11～12時 ホ 心平誕生月の記念朗読会 心平生家(予定)
6月	朗読サロン 4日(土) 11～12時 ホ 文学散歩「磐城七浜の文学」 5日(日) 10～12時(要申込) ※
7月	スポット展示「草野心平の料理」 2日(土)～9月25日(日) ※ 朗読サロン 2日(土) 11～12時 ホ カエルのクラフトワークショップ 23日(土) 14～15時 心平生家(要申込) 7～8月の土曜日は20時までサマーナイト開館し、コンサートなどを開催します。 夏の夕暮れのひとときをお楽しみ下さい。
8月	朗読サロン 6日(土) 11～12時 ホ 子どもじゃんがら 14日(日) 11時～11時20分 心平生家
9月	朗読サロン 3日(土) 11～12時 ホ
10月	スポット展示「吉野せい」 1日(土)～12月25日(日) ※ 朗読サロン 1日(土) 11～12時 ホ 文芸講演会(予定・要申込) 文学散歩(予定・要申込) ※ ホ
11月	没後35回忌「心平忌」・第28回「心平を語る会」 12日(土) 心平生家(予定・要申込) 朗読サロン 19日(土) 11～12時 ホ
12月	ガリ版ワークショップ 3日(土) 13時30分～15時(要申込) 朗読サロン 10日(土) 11～12時 ホ クリスマスえほんコンサート 18日(日) 14～15時(要申込)
1月	スポット展示「草野天平」 2日(月・休)～3月26日(日) ※ 「ガリ版ワークショップ」参加者作品紹介 2日(月・休)～9日(月・祝) 朗読サロン 14日(土) 11～12時 ホ
2月	朗読サロン 4日(土) 11～12時 ホ 草野天平の集い 26日(日) 13時30分～14時30分 心平生家(予定・要申込)
3月	朗読サロン 4日(土) 11～12時 ホ 居酒屋「火の車」一日開店 12日(日) 11～12時(要申込) ※ ホ